

活動状況報告（2月）

学生留学コース 5期生 酒井 友希

2月の始めに大学の案内で大学近くの博物館の Arktikum というサイエンスセンターで “Impact of Climate Change in the Arctic” という講演会がありました。この講演会ではフィンランドの大統領とカナダの総督が北極の国として参加しておりました。他にはサーミ民族とカナダのイヌイットの代表者そして、気候変動の研究者も一緒に登壇していました。大学の案内でフィンランド人だけではなく私を含む多くの留学生も参加していました。講演会のポイントは、フィンランドとカナダの親交と北極の国としての気候変動を抑制の協力についてでした。講演会終了後に他の留学生の友達と意見交換をしました。1時間の講演会で気候変動の解決の行動策についてはまでは深く取り上げられなかったという印象を友達と二人で持ちました。時間が短く限られており、少し残念でしたが、留学生を含めた幅広い人々が大統領や総督が登壇しているイベントにカジュアルに参加できるのは非常によく思いました。

また、2月は人生で初めてバックカントリースキーをしました。スペイン・イタリア・ベルギー・ロシアの大学の友達とピュハのスキー場でやりました。バックカントリースキーは想像を遥かに超えて体力がきつかったです。スペイン人の友達がよくバックカントリーをする人なので案内してもらいました。バックカントリー用の道具は全てピュハのスキー場でレンタルをしました。山を登るのはきつかったですが、下山は新しい雪の上に滑れてみんな大満足でした。そして、今まで当たり前前にリフトに乗っていましたが、リフトを乗れることに感謝の気持ちが大きく湧きました。スキーをしている友達は私が北海道から来たことを伝えると一度はパウダースノーを滑りたいと羨ましがります。今回のスキーの旅は改めて、ラップランド大学へ来ている留学生は自然が好きな人が多いと感じました。始めにスペイン人の友達がバックカントリーへ行くと300人ほどいるグループチャットに呼びかけメンバーが集まりました。自然系の遊びは車の燃料やレンタルを割り勘できるためオープンに呼びかけることが多いです。多くの人が自然の遊びが好きなのですぐにメンバーが集まります。

最後の写真は『フィンランド×日本の会』をしました。みんなでお菓子や作った食べ物の持ち寄りパーティーをしました。私が4年前の大学一年生の時に札幌へ交換留学に来ていた当時のフィンランド人の留学生とまたフィンランドで再会しました。彼女は写真に写っているラズベリーカップケーキと Karjaanpiirakka（カルヤランピーラッカ）を作ってくれました。Karjaanpiirakka はフィンランドの伝統的な食べ物でライ麦と小麦粉の生地にミルク粥（マッシュポテト版もあり）を乗せて焼いたパイです。フィンランドに来た際はスーパーのパンの場所によく売っているのでフィンランドへお越しの際は是非試していただきたいです。

それでは、Kiitos Heippa!





